

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発生以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

被災地では、地元住民との話し合い等の場を経て、市町村ごとのまちづくり計画の策定が進んでいます。復興に向けて歩んでいる岩手の今を御紹介します。

【三陸鉄道・復旧工事安全祈願祭&起工式】

11月3日、三陸鉄道の復旧工事安全祈願祭と起工式が、野田村の北リアス線現地で行われました。

三陸鉄道は、昭和59年に全国初の第三セクター鉄道として開業しました。以来、地域住民をはじめ、多くの方々の支援をいただきながら、三陸沿岸地域の生活の足として、そして、観光や地域振興の社会基盤として、重要な役割を果たしてきました。

その三鉄は津波で甚大な被害を受けました。「とにかく復旧できるところから列車を動かそう」と、震災5日後の3月16日には久慈～陸中野田間で、20日には宮古～田老間で、29日には田老～小本間で運転を再開したものの、現在の運転再開区間は全線の3分の1程度にすぎません。



線路が流出した島越駅付近

三陸鉄道の復旧は、今回の震災からの復興の象徴であり、地域住民の希望の光です。

全線復旧を成し遂げ、鉄道を、開業時の先人の熱い想いを、将来に渡ってつなげていくため、引き続き、皆さんの御支援をお願いします。

>>>三陸鉄道 <http://www.sanrikutetsudou.com/>

【漫画家から被災地の子どもたちへ】

11月9日、著名漫画家4名が県庁を訪問し、知事に被災地応援ポスターを贈呈しました。このポスターは、東日本大震災津波の発災後から、東京中日スポーツ紙上において、14回に渡り連載していた著名漫画家による被災地応援メッセージとイラストをポスターにしたもので、同紙が岩手県内の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校に配布したものです。



右から山田貴敏氏(代表作(以下略): Dr. コトー診療所)、細野不二彦氏(ギャラリーフェイク)、達増知事、藤沢とおる氏(GTO)、藤田和日郎氏(うしおととら)

>>>ポスターの詳細画像はこちらから
<http://twitpic.com/7e2ak6>

【ありがとう！頑張ってます！】

清水寺・森清範貫主直筆「絆」の書

11月8日、「今年の漢字」で知られる清水寺・森清範貫主による直筆の「絆」の書が県に寄贈されました。これは、「希望郷いわて文化大使」でもある森貫主が被災地復興の一助になればと自ら漢字を選び揮毫されたものです。



「今年の漢字」と同じサイズ(1.5m×1.3m)、同じ越前和紙を使用

この書は(株)川徳が所有していましたが、森貫主ご本人の意向により、今回県へ寄贈されました。現在、県庁1階の県民室に展示されています。

■県政番組「いわて希望のちから」WEBで配信中！

いわて希望のちから

>>>詳しくはこちらから
<http://goo.gl/ZHKcX>

皆様のご支援、ありがとうございます。

- ★義援金受付状況(10月31日現在)
約162億9,527万円(71,327件)
- ★寄付金受付状況(10月31日現在)
約59億8,784万円(4,265件)
- ★いわての学び希望基金受付状況(10月31日現在)
約20億4,260万円(3,175件)

>>>義援金・寄付金の募集

<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/jyouth/volunteer.html>

岩手県の被害状況(11月14日現在)

- 人的被害 死者：4,665名
行方不明者：1,425名
- 建物被害(住家のみ、全半壊)：24,735棟

【仮設住宅カスタマイズ事例見学会を実施しました】 ～ 住環境改善のヒントに ～

県は、仮設住宅カスタマイズ事例見学会を11月10日、11日に大船渡市の仮設住宅団地で実施しました。

この見学会は、応急仮設住宅の生活環境向上のための実例を入居者に紹介するもので、入居者間のコミュニケーションの場とすることも目的の一つとしています。団地内の談話室を会場に、寒さ対策として気泡シート(通称「プチプチ」)を窓に貼ることやツッパリ棒を使った収納の確保、マグネットやフックを使った小物収納などを職員が実演、説明しました。10月には釜石市でも開催しており、11月中には陸前高田市、宮古市で開催する予定です。

応急仮設住宅の寒さ対策は、外断熱工事が10月に完了し、12月中には風除室の設置も完了するほか、地元業者を活用しファンヒーターやこたつなどの暖房器具を市町村の実情に応じて各戸に提供することとしており、被災者の住環境の改善に努めています。



見学会の様子(参加者へ説明する職員)

(写真左) ツッパリ棒を使った収納

(写真下) プチプチを使った防寒対策



首都圏で開かれるイベントです。ぜひご来場ください。

【11月～12月の復興支援イベント】

開催期間	イベント名	場所	内容
11月25日(金) ～ 11月27日(日)	世界遺産登録記念・平泉の特産品フェア	いわて銀河プラザ (東京都中央区・東銀座) TEL 03-3524-8282	世界遺産登録を記念し、平泉の観光PRや物産販売を行います。
12月3日(土) 12月4日(日)	ココロハコブプロジェクト 第5回チャリティイベント	MEGA WEB (東京都江東区・お台場)	トヨタの大型自動車ショールームで開催。岩手県をはじめとする被災地各県の物産市やチャリティオークション、被災地支援活動紹介、被災地PRなどを行います。
12月19日(月) ～ 12月21日(水)	東日本復興応援物産展	東京国際フォーラム B2F 展示ホール2 (東京都千代田区・丸の内)	岩手県をはじめ被災地各県が出展。食品・伝統工芸品の販売や、さんさ踊りなどのステージイベント、観光PRなどを実施します。

>>>その他の復興支援イベントはこちらから ... <http://goo.gl/g7bMk>



【セキリテ被災地応援ファンド】

被災地で復興に取り組む事業者と、復興を支援したい全国の個人をつなげて、資金調達とファンづくりの両面から被災事業者を支援する仕組み。それが「セキリテ被災地応援ファンド」(ミュージックセキリテーズ株式会社運営)です。

このファンドの特徴は、出資のうち、投資が半分、寄付が半分だということ。一口10,500円から参加でき、リターンはお金以外の、商品の提供や、優先購入予約、体験イベントへの参加などが中心です。

出資を通じて、復興に向けて力強く歩みだした岩手の事業者を応援していきませんか。

出資者募集中

岩手県の参加事業者

株式会社葎屋酒造店、三陸味処三五十、有限会社三陸とれたて市場、御菓子司木村屋、酔仙酒造株式会社

■東京で説明会を開催します！

- ・参加予定事業者：御菓子司木村屋(陸前高田市)等
- ・日時：11月30日(水) 19:00-21:30(受付18:30)
- ・場所：東京・新丸の内ビルディング 10階 創生ビレッジ内
- ・定員：80名
- ・参加費：無料
- ・申込み：セキリテHPから



>>>ファンド詳細・説明会申込はこちらから <http://oen.securite.jp/>



いわて復興だより 第9号 平成23年11月15日

発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6918 ✉ AJ0001@pref.iwate.jp

◆復興だよりバックナンバーはこちらから → <http://bit.ly/qBFB0z>